

令和元年度 芦屋市文化推進基本計画評価報告書

芦 屋 市



1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進

1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
<p>【総括】</p> <p>ルナ・ホールにおいて世界的指揮者である佐渡裕氏を招いたコンサートの開催、美術博物館での「あしやつくるば」や「まなびはく」等のイベント・ワークショップの開催、文化ゾーン3館連携事業としての「n i w a - d o k u 2 0 1 8」など、市民が文化芸術に触れる機会を拡充した。また、国指定重要文化財旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）保存修理工事完成記念事業として記念シンポジウムを開始するなど、歴史的建造物の普及啓発も行った。</p> <p>市の事業だけでなく市民自らが文化活動できる場を増やすため、各種事業への後援名義の使用許可、ルナ・ホール舞台の使用機会を提供する「夢ステージ」、介護予防・通いの場づくりへの補助などもあわせて行い、様々な分野で誰もが文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めた。</p> <p>しかし、継続開催に向けて組織・体制の維持が困難である事業や、新たな参加者や多くの年代の参加が進まない事業など、周知方法や事業内容の検討が必要となる事業もある。</p>
<p><取組成果></p> <p>(1) 誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民センター各事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ステージ（9団体、来場者数 3,710人） ・市民ギャラリー（13団体、来場者数 4,938人） ・市民絵画展（29点、来場者数 390人） ◆ルナ・ホール事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住で世界的指揮者の佐渡裕氏を招いたイベントを開催（参加者 666人） ・北村陽氏を招いたチェロ・リサイタル（参加者 670人） ・避難訓練コンサート（参加者 290人） ◆公民館講座 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに国際経済学講座や現代映画監督術講座や終活講座などを実施 （講座数 29講座（前年度比+3講座）、受講者数 1,672人（前年度比+176人）） ◆さくらまつり <ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月最初の土・日曜日に芦屋川沿いにステージや屋台が出店し、まちの賑わいづくりに貢献 ◆美術博物館・谷崎潤一郎記念館・富田碎花旧居・三条文化財整理事務所 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が文化芸術に触れることができるよう年間を通して展覧会や講座・講演会・ワークショップ等を実施 ・美術博物館では、展覧会以外に、全世代が文化芸術に親しみを持てるよう「あしやつくるば」や「まなびはく」などのイベントやワークショップを開催 ◆谷崎潤一郎記念館 <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎作品の映画上映や講演会を開催し、谷崎文学の理解を深める機会を提供 ◆文化ゾーン連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「n i w a - d o k u 2 0 1 8」を実施し、美術博物館、谷崎潤一郎記念館、図書館の利点をそれぞれ活かし、全世代を対象としつつ、多くの親子世代の参加を得ることができた。更に、芦屋の歴史・文学・美

1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進

術に関する文化ゾーン講座を開催。

◆文化財関連事業

国指定重要文化財旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）保存修理工事完成記念事業として、記念シンポジウム及び子ども対象のワークショップを実施し、パンフレット『芦屋の近代建築』を刊行したことで、旧山邑家住宅及び市内の歴史的建造物の普及啓発を行った。

◆山まつり，秋まつり

荒天により中止

◆芦屋サマーカーニバル

開催支援として、イベントを通じたコミュニティの推進を目的とし、芦屋市民まつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成を行った。平成 30 年度事業費は 4,000 千円。実施期間は平成 30 年 7 月 21 日。成果指標として、参加者数は平成 29 年度が 98,450 人、平成 30 年度が 96,000 人。前年度よりやや減少しているものの、ある程度達成できている。平成 31 年度の目標は参加者数の現状維持。

◆人権啓発映画会

2 回開催し、昨年度に比べ若い世代も含めて参加者が増加。

アンケート結果においても約 96%の方が参加してよかったと回答しており、誰もが文化を身近に楽しめるきっかけをつくることができた。

◆各イベントの広報・告知

広報紙・HP・SNSを通じて芦屋の文化や各イベント・展示を積極的に告知

(2) 文化活動を通じた地域のつながりづくり

◆介護予防・通いの場づくり補助事業

事業利用団体は 5 団体から 8 団体へと前年度より増加。

◆ひとり一役活動推進事業

123 人から 139 人へと前年度より登録者が増加。

地域活動の促進と介護予防の推進に寄与。

◆あしや保健福祉フェア

芦屋市保健福祉センター内の事業、芦屋市の保健・福祉の取組の周知を目的として、毎年 1 回開催。平成 30 年度は延べ 9,296 人の参加者があり、地域の活動や健康増進、障がい福祉や高齢者福祉に関する企画等を通じて「保健・福祉」への理解を深める場となっている。また、保健福祉センターが市民の集いの場となるよう月 1 回開催している、エンタランス・コンサートでは、「みんなで歌いましょう」や手話歌レッスンなどの、来場者も参加して楽しめるコンサートとなっている。

(3) ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興

◆高齢者の文化的活動を支援

高齢者のイベントの継続実施とともに、高齢者関係団体への支援を行った。

シルバー人材センターは会員が毎年増加。会員からの新規提案を募集し、事業化するなど独自事業の推進も積極的に行った。また、生きがいデイサービスは、これまで実施の少なかった地区において新たな教室を試行実施した。

1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進

◆上宮川文化センターでの人権啓発事業

例年の開催回数・参加人数を維持して継続開催。

多くの市民に親しまれるイベント等に成長したと思われる。

(4) 文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用

◆文化ゾーンの活性化

「n i w a - d o k u 2 0 1 8」, 「ミュージアムdeおはなしの会」, 「芦屋親子で楽しむクラシックコンサート」で, 美術博物館, 谷崎潤一郎記念館等, 関係課・事業者と連携し, 文化事業の開催や絵本の読み聞かせ等を実施した。

◆学校園施設の目的外使用許可

条例に定めるところにより, 454件の学校園施設目的外使用の許可を行った。

(5) 文化芸術を行う団体への支援

◆後援名義の使用許可

教育, 学術, 文化及びスポーツに関する事業を行う団体に対し, 芦屋市教育委員会の後援名義の使用を185件承認した。文化活動等の振興を図った。

◆夢ステージ

市内の小中学校で教鞭をとられていた故高山惇が作曲した声楽曲や合唱曲を中心とした演奏会を実施。
(参加者367人)

◆芦屋市芸術文化活動表彰

市民文化活動表彰として, 芦屋市民及び芦屋市に関係のある個人又は団体に対し, 優れた成績を残した方々へ表彰を行った。(※表彰対象となった活動は主にピアノや書道など)

平成29年度 個人19人, 団体2団体 平成30年度 個人37人, 団体2団体

◆芦屋市芸術文化活動助成

市民及び市内において芸術文化活動を行っている団体又は個人に対し, 一定基準以上の大会に参加する場合, 個人・団体ごとに参加費を補助するもの。

平成29年度1個人, 1団体 平成30年度1団体

◆芦屋市民提案型事業補助金

市民の創意工夫に基づく市民活動の提案に対し, 1回10万円を限度に活動に必要な経費を補助(採択団体の取組のうち, 美術博物館で子どもたちが音楽にあわせた昔話を聞いたり, 能を体験できる取組を実施)

平成29年度: 採択団体4団体 平成30年度: 採択団体2団体

【課題】

◆組織・体制

・図書館では, 関係課, 事業者, ボランティアとの連携体制の構築・維持が課題である。

◆広報・周知

・上宮川文化センターでは一層多くの市民の認知向上及び新規来館者獲得が課題

・イベント等の周知において多くの人々に興味を持ってもらえるよう, 掲載内容の工夫等が必要

1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進

- ・地域福祉課の事業では、事業利用団体、登録者数の増加など、地域活動に取り組む人数は増加しているが、さらなる活動の推進に向け、効果的な周知や活動先の拡充等について検討していきたい。
- ・老人福祉会館やゆうゆう倶楽部について引き続き周知活動を行っているが、近年利用者が減少しているため、高齢者への周知方法の検討が今後の課題である。
- ・市内にある文化財の更なる周知や普及・啓発。
- ◆事業内容の検討
 - ・市民センター、公民館では、次年度以降も芦屋にふさわしい事業を例年と同程度規模で実施できるか検討が必要。
 - ・人権啓発映画会の内容によって参加者に差がでるため、継続して誰もが楽しめるものにする必要がある。
 - ・南芦屋浜地区の整備が完了に近付いており、イベントの開催と周辺住居及び住民の安全対策を両立する必要がある。市の規模とイベントの規模を比較し、コミュニティの推進のために適切な規模のイベントを目指す必要がある。
 - ・エントランス・コンサートでは、多くの方に参加いただいているが、高齢者の方の参加が多く、若年層が少ない印象であるので、幅広い世代の方の参加となるよう、企画の検討や、開催の周知を呼びかけていく。
 - ・文化ゾーン連携事業の充実。
- ◆目的外使用の適正な許可
 - ・学校園の運営上支障がない範囲という原則を踏まえつつ、いかに市民のかたに活動の場を提供できるかという調整が必要。促進に寄与する事業であるかどうかの適切な審査が課題。
- ◆予算
 - ・夢ステージでは、予算の確保や事業の選択が困難。
 - ・さくらまつりでは、安定的に開催するための財源確保策の検討が必要。

2 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進

2 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
<p>【総括】</p> <p>子どもたちの豊かな心や感性を育むことができるよう、地域や様々な民間団体の参画も得ながら「あしやキッズスクエア」を実施し、子どもたちが多様な文化プログラムを体験できるよう居場所や環境づくりを行った。</p> <p>また、子どもの頃から芸術に触れるよう、親子で楽しめる文化芸術プログラムとして、美術博物館で「絵本の展覧会」や、シティプロモーションイベントとして「親子で楽しむクラシックコンサート」などを開催した。</p> <p>その他、子どもたちの豊かな心と体を育む食育活動として、「味覚の授業」と「ママ・パパのための料理セミナー」も開催した。</p> <p>課題としては、あしやキッズスクエアでは、地域の歴史や文化等の体験プログラムを充実させるため、地域人材の協働が必要となる。食育活動では、中心的役割を担う管理栄養士の負担が大きく、人材面で課題がある。</p>
<p>【取組成果】</p> <p>(1) 豊かな情操を育む体験活動の推進</p> <p>◆食育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における様々な食育活動を通して、食べることの楽しさや食材のおいしさを伝えた。「味覚の授業」では市内有名シェフを講師に味わうことの楽しみに触れる体験型学習を行う等、食への正しい理解と高い関心を育むことができた。 ・市内有名シェフによる料理講習や、学校給食メニューの調理実習を内容とする「料理セミナー」等で食育事業を発信した。 <p>(2) 地域社会とのつながりによる文化体験</p> <p>◆あしやキッズスクエア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度より実施回数 86 回増・参加人数 492 名増と開催・参加人数とも増加し、地域の方によるプログラムの充実の他、児童が関わる機会の少ない企業・NPO 等（全国展開企業・ユニセフ・ユネスコ）、美術館学芸員・イラストレーター等様々な分野で活躍されている方から放課後にしか学べない多様な文化体験が行えている。 <p>(3) 親子に向けた積極的な情報発信</p> <p>◆美術博物館・谷崎潤一郎記念館での親子向けイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇に親子で訪れ楽しめるように絵本の展覧会を開催した。また、谷崎潤一郎記念館では、メディア芸術作品の「文豪ストレイドッグス」展で若年層に対して文化活動への参加を促すアプローチができた。 <p>◆子育てサポートブック「わくわく子育て」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改訂版を作成し、市内の各公共施設を紹介し、市民への周知を行うことができた。さらに現代の保護者向けの情報発信手段として有効である子育てアプリを活用し、市内の公共施設で年間を通じて定期的に開催されているひろば事業や幼稚園での園庭開放、他部署が実施する子育てに関するイベントについて周知し、親子の交流の場の発信を行うことができた。

2 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進

【課題】

◆時間的制約

- ・授業時間の関係もあり，食育に係る時間に限りがある。

◆組織・体制

- ・食育活動では，中心的役割を担う学校栄養士の負担が大きい。
- ・あしやキッズスクエアでは，地域の歴史や文化等については，芦屋の地域資源や人材協力など，協働をはかり，更に充実した体験プログラム等として，位置づける必要である。特に戦争体験等は，高齢化が進み，実施にむけて取り組みたい。学校とは異なる視点で地域の様々な方に地域文化について学び・体験するプログラムをすすめていく。

◆事業内容の検討

- ・上宮川文化センターでは，内容の充実及びPR方法の検討が課題

◆情報発信

- ・子育て関連のイベントでは，地域に向けたイベント情報を発信する機会を増やすため，他課との連携を図りつつ，今後は市役所内から広く記事を募集し，イベントや子どもの居場所について積極的に周知を行い，情報発信に努める必要がある。

3 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり

3 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり

【総括】

多様な文化を持つ人との交流を促進するため、姉妹都市交流や学生親善使節による文化交流などを実施した。また、誰もがいつでも読書に親しみ心豊かに暮らすことができる環境づくりのため、図書館本館の大規模改修や小中学校における読書活動を推進した。

その他、優れた景観の保全・育成を行うため、景観重要建造物を 2 件指定し、良好な景観を保全し、書籍の出版等により本市の認知度向上及び魅力発信に大きく寄与することができた。

課題としては、姉妹都市交流は限られた夏休み中に行うため時間等の制約があり、多文化共生セミナーは参加人数が制限されるため、事業内容に改善が必要となる。

読書活動においては、子供向けの読書活動は様々な事業が実施されているが、大人向けイベント等の充実が課題となっている。

景観重要建造物の指定では、所有者の同意が課題となっており、特に個人が所有する住宅等を指定するには、税制面による支援や補助金制度などのメリットの活用が必要となる。

シティプロモーション事業としては、市民への巻き込み手法や市内で実施されているイベント等の総合的な情報の発信が課題となっている。

【取組成果】

(1) 暮らしに根ざした文化交流のまちづくり

◆国際交流

- ・姉妹都市交流に中学生 6 名を派遣。また、学生親善使節 2 名と朝日ヶ丘小学校、山手中学校で交流。朝日ヶ丘小学校の外国語活動で外国籍の市民を迎え防災について英語で説明し、交流した。
- ・潮芦屋交流センターにてセミナー・講演会・料理教室などを行い、日本以外の文化を様々な角度から紹介した。小学生やその保護者を対象に多文化共生セミナーを行い、遊びや食文化の中で他の文化に触れる機会を作った。

(2) 芦屋らしい良好な住まい・景観づくり

◆景観重要建造物の指定

- ・景観重要建造物 2 件（芦屋仏教会館、カトリック芦屋教会）の指定により、良好な景観を保全するとともに、景観への意識の醸成に寄与することができた。

(3) 読書のまちづくりの推進

◆図書館本館の大規模改修

- ・図書館本館の大規模改修工事を実施し、照明の LED 化、館内案内標示の改良、読書スペースの拡充等、読書環境の整備を行った。また、工事期間中も「子どもおはなし会」「えほんの会」については、会場を変更して実施するなどの工夫によって、読書活動に係る事業を継続させることができた。

◆読書活動

- ・各学校図書館の利用促進に関する取組を通し、芦屋市立小中学校の学校図書館の貸出し冊数及び児童生徒一人当たりの貸出し冊数も増加した。小学校における読書スタンプラリー達成者の人数も毎年更新している。小学校図書館において就学前施設の幼児が体験できる取組が全校に広がりつつある。

3 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり

(4) 文化を通じたまちの魅力の一体的な発信

- ・書籍「芦屋～あしやを歩く本～」の出版により、新聞・テレビ等にも取上げられ、本市の認知度向上及び魅力発信に大きく寄与することができた。また、書籍の出版と関連して「あしやを歩く スタンプラリー」を実施し、市内 82 店舗に参加いただき合計で 788 件の応募があり市内の回遊性を高めることができた。

【課題】

◆時間的制約

- ・小中学校において、夏休み中の限られた時間の中で、国際交流することは厳しい。

◆事業内容の検討

- ・多文化共生セミナー等は、参加人数が限られるため、より多くの市民の方が参加しやすいような事業内容を検討する必要がある。
- ・授業における読書活動のさらなる充実について検討が必要である。
- ・本と人をつなげるための、大人向けイベント等の充実が課題である。

◆景観重要建造物の指定

- ・所有者の同意が課題となる。特に個人が所有する住宅等を指定するには、税制面による支援や補助金制度などのメリットを活用しなければ、今後、指定件数を増やしていくのは難しい。

◆情報発信・市民の巻き込み

- ・シティプロモーション事業においては、イベント等、市内で実施されている事業の総合的な情報の発信や市民への巻き込み手法が課題である。

(参考1) 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ)(回数)(日時)	
【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり	広報国際交流課	1	各種媒体を活用した情報発信	計画掲載	「広報あしや」に加え、インターネットを中心とした動画配信など様々な媒体での情報発信		
		市民参画課	2	さくらまつり開催支援	計画掲載	さくらまつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成	[フリーペーパー] ○阪急沿線情報誌TOKK3月15日号/4月1日号 ○阪神沿線情報紙『ホット！HANSHIN』4月号 ○リビング新聞 HANSHINISTA3月15日号 ○神戸新聞「奥さま手帳」2019年4月号 [WEB掲載] ○JRおでかけネット、じゃらん、ヤフー ○阪急電鉄・沿線おでかけ情報 ○JAF兵庫支部ホームページ ○芦屋の地域情報サイト「まいぷれ」 [ポスター・デジタルサイネージ] ○阪神電車「沿線案内フラッシュアップ」4月号(車内吊ポスター/駅構内デジタルサイネージ)	
		人権推進課	3	ふれ愛シネサロン	計画掲載	映画の鑑賞を通じて、人権や平和について考える機会の提供		
		地域経済振興課	4	あしや秋まつり開催支援	計画掲載	秋まつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成		
		地域経済振興課	5	あしや山まつり	計画掲載	奥池地域で自然を楽しむとともに、コンサートなど無料で文化に親しむイベントを実施		
		上宮川文化センター	6	ワンコインシアター	前年度	名作映画の上映会実施		
		上宮川文化センター	7	ヒューマンライツシアター	計画掲載	人権、平和等に関する映画上映・世界の名作映画上映		
		保健センター 福祉センター	8	保健福祉フェア	計画掲載	地域の福祉活動報告、健康増進の啓発、コンサートや出店、障がいのある人とのスポーツ交流広場など、あらゆる世代が楽しめるイベントの開催		芦屋の地域情報サイト 芦屋人～あしやびと～掲載(7/20) リビング阪神掲載(7/14)・子育てアプリ掲載(7月)
		公園緑地課	9	サマーカーニバル開催支援	計画掲載	芦屋市民まつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成		
		市立芦屋病院	10	ホスピタルフェスタ	計画掲載	体験コーナー、公開講座、院内コンサート等を院内開放して実施		
		市立芦屋病院	11	マチネコンサート	計画掲載	入院患者等に癒しを提供するため、月1回日曜日に外来ホールを利用して実施(演奏はボランティアによる)		
		生涯学習課	12	富田碎花顕彰事業	計画掲載	富田碎花賞の実施、富田碎花旧居の公開		新聞掲載 3回
		生涯学習課	13	文化財保護及び啓発事業	計画掲載	本市ゆかりの文化や芸術、文化財に対する理解・関心を深める展示やイベント等の実施		新聞掲載 3回
		生涯学習課	14	谷崎潤一郎記念館管理運営事業	計画掲載	谷崎潤一郎賞受賞記念特別講演会の開催、文化ゾーンの3館(図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館)による連携事業の実施		
		生涯学習課	15	美術博物館管理運営事業	計画掲載	文化ゾーンの3館による連携事業の実施。SNS等を活用した情報発信		
		市民センター	16	ルナ・ホール事業	計画掲載	ルナ・ホールを利用し、発表及び鑑賞の場を提供(※別紙参照)		芦屋文化サロン山本富士子「心に人生の宝物を持つ」(4/30毎日新聞)、北村陽チェロ・コンサート(5/21日本経済新聞)、第9回芦屋文学サロン芥川賞と直木賞のすべて(6/14神戸新聞)、川井郁子ヴァイオリン・コンサート(7/20毎日新聞・7/30日本経済新聞)、あしやティアフル映画祭(12/13神戸新聞・12/15日本経済新聞・12/19毎日新聞)
		市民センター	17	市民会館文化事業	計画掲載	市民ステージ、市民ギャラリー、市民絵画展を実施(※別紙参照)		
		市民センター	18	市民センター管理運営	前年度	市民センター施設の管理運営、貸出し		
		学校教育課	19	学校給食レシピ集を活用した料理セミナー	前年度	市内小中学校に子どもを通わせている保護者対象の料理教室(2回)の実施。		NHK「ニュース神戸発」
		図書館	20	大人が楽しむおはなしの会	前年度	大人を対象としたおはなし会		
		図書館	21	金曜シネサロン	前年度	名画の上映会		
		図書館	22	資料の収集・保存・提供	前年度	資料の収集・保存・提供		
		地域経済振興課	23	あしや秋まつり開催支援(1-(1)再掲)	計画掲載	秋まつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成		
		保健センター 福祉センター	24	保健福祉フェア(1-(1)再掲)	計画掲載	地域の福祉活動報告、健康増進の啓発、コンサートや出店、障がいのある人とのスポーツ交流広場など、あらゆる世代が楽しめるイベントの開催		芦屋の地域情報サイト 芦屋人～あしやびと～掲載(7/20) リビング阪神掲載(7/14)・子育てアプリ掲載(7月)
		市立芦屋病院	25	ホスピタルフェスタ(1-(1)再掲)	計画掲載	体験コーナー、公開講座、院内コンサート等を院内開放して実施		

〔参考1〕 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ)(回数)(日時)
①【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり	市立芦屋病院	26	マチネーコンサート(1-(1)再掲)	計画掲載	入院患者等に癒しを提供するため、月1回日曜日に外来ホールを利用して実施(演奏はボランティアによる)	
		生涯学習課	27	生涯学習推進事業(市民版出前講座)	計画掲載	本市の社会教育関係登録団体や、社会教育活動を通じて学んだ市民による出前講座の実施(あしや学びあいセミナー)	
		生涯学習課	28	文化財保護及び啓発事業(ボランティアの養成)	計画掲載	文化財ボランティアの養成	
		生涯学習課	29	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業(本の虫ねっと)	計画掲載	本の虫ねっと連絡会への参加及び調整等の支援	
		公民館	30	講座・セミナー・公民館 音楽会等の開催	計画掲載	市民の学習ニーズ及び市の教育方針に基づき、講座・セミナー・音楽会などを実施	作家藤本義一の思い出(5/31読売新聞)、芦屋の映像コレクション「昭和初期、六麓荘の家族の生活」(10/14神戸新聞)小松左京の思い出(1/28毎日新聞)
		公民館	31	芦屋川カレッジ・芦屋川大学院	計画掲載	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院の実施	
		公民館	32	常設展示事業・公民館ギャラリー	計画掲載	展示による学習機会の提供(常設展示事業)、市民の学習成果の発表の場を提供(公民館ギャラリー)	
		図書館	33	図書館運営事業(研究会)	計画掲載	おはなしの研究会。絵本の研究会	
		市民参画課	34	地区集会所管理運営事業	前年度	指定管理者による管理運営。文化活動の拠点としての場の提供。【伝統文化(行事)の継承】餅つき大会、どんと焼き、桜まつりなど	
		上宮川文化センター	35	上宮川文化センター管理運営	前年度	上宮川文化センター管理運営・貸出	
		地域福祉課	36	介護予防・通いの場づくり補助事業	前年度	地域の集会所等で、住民同士がより身近に集まれる地域の居場所を運営する団体または個人に補助金を交付するもの。	
		地域福祉課	37	ひとりり役活動推進事業	前年度	介護保険施設等や高齢者の居宅において、レクリエーションの手伝い等のボランティア活動を行う方を、ひとりり役ワーカーとして登録し、その活動実績に応じてポイントを付与し、年度末に換金(上限・要件あり)するもの。	
	(3)ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興	福祉センター	38	エントランスコンサート	計画掲載	月1回、福祉センターが市民の集いの場となるよう、エントランスコンサートを実施(手話歌レッスンや障がいのある人などが出演)	神戸新聞(複数回)
		保健センター福祉センター	39	保健福祉フェア(1-(1)(2)再掲)	計画掲載	地域の福祉活動報告、健康増進の啓発、コンサートや出店、障がいのある人とのスポーツ交流広場など、あらゆる世代が楽しめるイベントの開催	芦屋の地域情報サイト 芦屋人～あしやびと～掲載(7/20)リビング阪神掲載(7/14)・子育てアプリ掲載(7月)
		高齢介護課	40	YOクラブ活動支援	計画掲載	芦屋で結成された高齢者の文化的活動を行う団体への支援	
		高齢介護課	41	老人クラブ活動支援	計画掲載	高齢者の地域での活動を通じた仲間づくりの活動を支援	
		高齢介護課	42	敬老会	計画掲載	高齢者を招待し、演芸鑑賞を実施	
		高齢介護課	43	演芸フェスティバル	計画掲載	高齢者を中心とした文化的活動を行っている市民グループが集い、コーラスや踊りなど日ごろの練習の成果を披露	
		高齢介護課	44	生きがいデイサービス	計画掲載	身近な地域で高齢者のつどいの場を提供(内容は手芸や体操、歌や絵画など)	
		高齢介護課	45	シルバー人材センター支援	計画掲載	高齢者が就労を通して様々な活動を展開し、住みよいまちづくりに貢献できるよう支援	月間シルバー人材センター 2018年10月号
		市立芦屋病院	46	ホスピタルフェスタ(1-(1)(2)再掲)	計画掲載	体験コーナー、公開講座、院内コンサート等を院内開放して実施	
		市立芦屋病院	47	マチネーコンサート(1-(1)(2)再掲)	計画掲載	入院患者等に癒しを提供するため、月1回日曜日に外来ホールを利用して実施(演奏はボランティアによる)	
		生涯学習課	48	生涯学習推進事業(社会教育関係団体の登録、支援)	計画掲載	社会教育関係団体の登録を行い、登録団体に対して情報発信や補助金等の活動を支援	
		市民センター	49	市民会館文化事業(1-(1)再掲)	計画掲載	市民ステージ、市民ギャラリー、市民絵画展を実施(※別紙参照)	
		図書館	50	図書館運営事業(障がい者サービス)	計画掲載	障がい者サービス(デジター図書貸出、宅配サービス等)の実施	
		上宮川文化センター	51	人権啓発展示会	前年度	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに展示会を行い、啓発の場とする。	
		上宮川文化センター	52	リーダー養成講座	前年度	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに講演会を実施し、啓発の場とする。	
		高齢介護課	53	老人福祉会館の運営	計画掲載	高齢者が囲碁や将棋等を楽しみながら交流を深めることができる居場所の提供	

(参考1) 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ)(回数)(日時)
①【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(4)文化ゾーンの活性化、各種施設の有効活用	高齢介護課	54	ゆうゆう倶楽部	計画掲載	小学校の敷地内に集会所を設置し、健康体操や手芸、絵画等の活動活動を行う市民に開放し高齢者の居場所を提供	
		福祉センター	55	エントランスコンサート(1-(3)再掲)	計画掲載	月1回、福祉センターが市民の集いの場となるよう、エントランスコンサートを実施(手話歌レッスンや障がいのある人などが出演)	神戸新聞(複数回)
		保健センター 福祉センター	56	保健福祉フェア(1-(1)～(3)再掲)	計画掲載	地域の福祉活動報告、健康増進の啓発、コンサートや出店、障がいのある人とのスポーツ交流広場など、あらゆる世代が楽しめるイベントの開催	芦屋の地域情報サイト 芦屋人～あしやびと～掲載(7/20) リビング阪神掲載(7/14)・子育てアプリ掲載(7月)
		市立芦屋病院	57	ホスピタルフェスタ(1-(1)～(3)再掲)	計画掲載	体験コーナー、公開講座、院内コンサート等を院内開放して実施	
		市立芦屋病院	58	マチネーコンサート(1-(1)～(3)再掲)	計画掲載	入院患者等に癒しを提供するため、月1回日曜日に外来ホールを利用して実施(演奏はボランティアによる)	
		生涯学習課	59	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業(コミスク活動)	計画掲載	コミュニティ・スクールへの活動等支援	
		生涯学習課	60	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(施設整備)	計画掲載	市民の文化芸術活動に資することができる良質な環境作りとしての各施設整備の実施	
		生涯学習課	61	美術博物館管理運営事業(施設整備)	計画掲載	市民の文化芸術活動に資することができる良質な環境作りとしての各施設整備の実施	
		管理課	62	学校園施設目的外使用の使用許可	前年度	条例に定めるところにより、学校園施設の目的外使用の許可を行った。	
		生涯学習課、図書館	63	文化ゾーン連携事業(niwa-doku、講座の開催)	前年度	美術博物館・谷崎潤一郎記念館の庭で読書を楽しむ	
	(5)文化芸術を行う団体への支援	市長室	64	市民文化賞	計画掲載	文化の向上に貢献された方への顕彰、賞の贈呈	
		市民参画課	65	芦屋市文化芸術文化活動助成及び顕彰	計画掲載	個人又は団体に対する活動助成・顕彰	
		市民参画課、管理課	66	市後援名義の使用承認	計画掲載	活動団体に対する後援名義の使用承認	
		市民参画課	67	地区集会所での社会教育関係団体等の使用料減免	計画掲載	地区集会所での活動促進のため、使用料を減免	
		市民参画課	68	市民文化振興基金の啓発事業	前年度	ふるさと寄附金を活用した市民文化振興基金の啓発	
		市民参画課	69	市民提案型事業補助金	前年度	1団体10万円×3団体を目安に提案のあった活動に対する補助金交付	
		用地管財課	70	財産区に関する事務	計画掲載	山車維持管理費補助金	
		生涯学習課	71	生涯学習推進事業(再掲)	計画掲載	社会教育関係団体の登録を行い、登録団体に対して情報発信や補助金等の活動を支援	
		生涯学習課	72	富田碎花顕彰事業(1-(1)再掲)	計画掲載	富田碎花賞の実施、富田碎花旧居の公開	
		市民センター	73	夢ステージ事業	前年度	文化プロデューサーを育成するためにルナ・ホールで公演する機会を提供する	
	(6)文化に関する情報発信の強化	生涯学習課	74	文化財保護及び啓発事業(情報発信)	計画掲載	「広報あしや」に文化財関連記事(芦屋タイムトラベル)を毎月掲載、SNS等を活用した情報発信	
		生涯学習課	75	生涯学習推進事業(情報発信)	計画掲載	「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映、SNS等を活用した情報発信	
		生涯学習課	76	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(情報発信)	計画掲載	「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映、SNS等を活用した情報発信	新聞掲載 114回、テレビ・ラジオ 6回、雑誌等掲載 2回
		生涯学習課	77	美術博物館管理運営事業(情報発信)	計画掲載	「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映、SNS等を活用した情報発信	新聞掲載 23回、雑誌等掲載 13回
		図書館	78	図書館運営事業(情報発信)	計画掲載	「図書館ホームページ」、「広報あしや」、「図書館報」による情報発信	
		広報国際交流課	79	Facebook・Instagramによる魅力発信事業	前年度	展覧会やイベントの告知や開催中の様子などを発信	
		上宮川文化センター	80	児童センター映画会	計画掲載	子どもの想像力や表現力を養い、文化・芸術活動を高めることによる児童の健全育成の推進	
		上宮川文化センター	81	児童健全育成事業(小学生を対象の体験活動)	計画掲載	小学生を対象に芸術、文化、運動などの分野での体験活動を通じた児童の健全育成の推進	
		子育て推進課 学校教育課	82	生活発表会	計画掲載	幼稚園、保育園での劇遊びや音楽遊び等の文化活動を通じた発表	

(参考1) 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ)(回数)(日時)
②【未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進】	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進	学校教育課	83	国際理解教育推進事業	計画掲載	児童生徒の異文化に対する理解や関心の向上に向けた国際交流。外国語によるスピーチコンテストの実施等、外国にルーツのある児童生徒と他の児童とが相互に学び合い、高め合える機会の提供	
		学校教育課	84	文化体育振興事業	計画掲載	自由研究教育活動展として、小中学生の夏休みの自由研究や幼稚園の教育活動の紹介。中学校総合文化祭での各校の代表クラスの合唱、全員合唱、吹奏楽部、合唱部の発表。造形教育展として幼稚園・小学校・中学校の絵画や立体作品の展示。芦屋市吹奏楽連盟演奏会として、市内中学校、高等学校の吹奏楽部、コミスクなどの団体の吹奏楽演奏会の実施。	
		学校教育課	85	学校給食関係事務	計画掲載	学校給食展の開催(芦屋の学校給食に関する理解と学校・家庭・地域が連携を深め児童生徒の健全な心身の発達に資する望ましい食生活の探求)	7月26日 NHK「ニュースKOBE」放送
		学校教育課	86	読書活動推進事業	計画掲載	子どもに読ませたい図書リスト400選の配布と活用。春・秋の読書週間及び月間時の読書推進啓発	
		生涯学習課	87	文化財保護及び啓発事業(子どもや親子対象事業)	計画掲載	子どもや親子を対象とした事業の実施	
		生涯学習課	88	美術博物館管理運営事業(子どもや親子対象事業)	計画掲載	子どもや親子を対象とした事業の実施	
		図書館	89	折り紙教室	前年度	子ども対象の折り紙教室	
	図書館	90	人形劇の会	前年度	幼児～小学生向けの人形劇の実施		
	(2)地域社会とのつながりによる文化体験	上宮川文化センター	91	児童健全育成事業(親子・保護者の交流)	計画掲載	親子での様々な遊びの中で、親子の結びつき、保護者間の交流を促進(親子クラブ、あそびひろば等)	
		学校教育課	92	トライやる・ウィーク推進事業	計画掲載	トライやる・ウィークの実施(中学校2年生が、一週間の職場体験等を通して地域について学び「生きる力」を育む)。トライやるアクションの実施(生徒に地域の一員としての意識を持たせ、地域交流会、地域清掃等に主体的に参加)	
		学校教育課	93	特色ある学校園づくり支援事業	計画掲載	教育ボランティアによる食育学習として、市内のミシュラン掲載店のオーナーや生産者を招く、体験を通じた食育の促進	
		学校教育課	94	味覚の1週間	前年度	五感を活用しながら味の基本となる4つの要素(塩味、酸味、苦味、甘味)にうまみを加えた5つの味について味わうことの楽しさに触れる味覚の授業を実施。芦屋市内のシェフによるコラボ給食提供(日本料理、イタリアン、フレンチ)していただき、その際に教わった調理方法を給食に取り入れる。	読売新聞 10月10日 宮川小の味覚の1週間、味覚の授業(高山シェフ) Lmagajp(Lマガジン)WEBニュース 12月7日、8日配信
		青少年育成課	95	あしやキッズスクエア	計画掲載	小学校の児童が放課後に校庭・校舎を利用した昔遊びやスポーツ体験等を行い、地域の方等の見守りの下で安全に過ごす居場所の提供	文部科学省「学校を核とした地域力強化プラン」全国自治体概算要求説明会等資料HP等(先進的事例紹介)・甲南中学高校HP・甲南大学HP・放課後NPOアフタースクールHP・JR広報誌「とことん」2018年冬号P16・17)・暮らしツアーズ(芦屋・神戸・洲本・淡路共同プロモーション)
		図書館	96	図書館運営事業(学校・幼稚園への貸出、団体受入)	計画掲載	学校・幼稚園への団体貸出。団体利用の受入れ	
	(3)親子に向けた積極的な情報発信	子育て推進課	97	子育て情報の発信	計画掲載	子育てサポートブック「わくわく子育て」、外出支援の小冊子「お散歩マップ」の他、ホームページやスマートフォンアプリを活用した子育て情報の発信	
		生涯学習課	98	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業	計画掲載	家庭教育支援	
		生涯学習課	99	美術博物館管理運営事業(情報発信)	計画掲載	SNS等による子ども向けイベント情報の発信。展覧会等のチラシを市内の小・中学生全員に配布	
		上宮川文化センター	100	児童センター子育て講演会	前年度	子育て、教育について様々なテーマで講演会を実施する。	
		図書館	101	親子で楽しむおはなしの会	前年度	親子を対象としたおはなし会	
		図書館	102	親子で楽しむ絵本の会	前年度	親子を対象とした読み聞かせ	
		広報国際交流課 市立芦屋病院	103	姉妹都市交流事業	計画掲載	姉妹都市学生親善使節の相互派遣事業。姉妹都市看護師等交換研修事業	

(参考1) 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ) (回数)(日時)
③【芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり】	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり	生涯学習課	104	富田碎花顕彰事業(再掲)	計画掲載	富田碎花賞の実施。富田碎花旧居の公開。	
		生涯学習課	105	生涯学習推進事業(団体等の支援)	計画掲載	社会教育関係団体公募提案型補助金制度による支援	
		生涯学習課	106	文化財保護及び啓発事業(再掲)	計画掲載	「広報あしや」に文化財関連記事(芦屋タイムトラベル)を毎月掲載。本市ゆかりの文化や芸術に対する理解や関心を深める展示やイベント等の実施。「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映。SNS等を活用した情報発信	
		生涯学習課	107	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(再掲)	計画掲載	谷崎潤一郎賞受賞記念特別講演会の開催。本市ゆかりの文化や芸術に対する理解や関心を深める展示やイベント等の実施(※別紙参照)。「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映。SNS等を活用した情報発信	
		生涯学習課	108	美術博物館管理運営事業(再掲)	計画掲載	本市ゆかりの文化や芸術に対する理解や関心を深める展示やイベント等の実施(※別紙参照)。「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映。SNS等を活用した情報発信	
		広報国際交流課	109	潮芦屋交流センター事業	前年度	潮芦屋交流センターでの多文化理解や文化活動の推進するための事業 ①セミナー②コンサート③世界の料理教室④ワールドフェスタ⑤講演会⑥文化教室⑦国際親善イベント	
		図書館	110	ライブラリーコンサート	前年度	クラシック中心のコンサート	
		図書館	111	ギャラリー展示	前年度	美術作品の展示	
	(2)芦屋らしい良好な住まい・景観づくり	道路課	112	道路の改良事業	計画掲載	無電柱化の推進。公共サイン計画に基づく実施	
		公園緑地課	113	庭園都市推進事業	計画掲載	オープンガーデンの実施。緑化団体の育成。公園・緑のネットワーク化	
		都市計画課	114	景観形成推進事業	計画掲載	市民の景観意識を高める取組(景観重要建造物の指定)	神戸新聞:10月11日朝刊 KissPRESS:2018.11号
		生涯学習課	115	文化財保護及び活用事業	計画掲載	芦屋川の文化的景観の見学会等の実施。会下山遺跡・金津山古墳・朝日ヶ丘遺跡の環境保全	
	(3)読書のまちづくりの推進	上宮川文化センター	116	図書活動支援事業	計画掲載	施設内にある図書室に子育て支援本コーナー及び新着絵本コーナーを設置し、本の閲覧、貸出の実施	
		学校教育課	117	読書活動推進事業(2-(1)再掲)	計画掲載	子どもに読ませたい図書リスト400選の配布と活用。春・秋の読書週間及び月間時の読書推進啓発	
		生涯学習課	118	学校園・家庭・地域の教育推進事業(再掲)	計画掲載	本の虫ねっと連絡会への参加及び調整等支援	
		公民館	119	公民館図書館	計画掲載	公民館図書室での資料の貸出。図書館との連携	
		図書館	120	図書館施設整備事業	計画掲載	老朽化した施設・設備の保全と市民・利用者へ快適な読書環境の整備	
		図書館	121	図書館運営事業(収集整理利用)	計画掲載	資料の収集・整理・貸出。レファレンスサービス。「読書講演会」「金曜シネサロン」「絵本の会」。「子どもおはなしの会」等行事の実施	
		打出教育文化センター	122	打出分室こどもおはなしの会	前年度	親子を対象としたおはなしと読み聞かせ	
		広報国際交流課	123	各種媒体を活用した情報発信(1-(1)再掲)	計画掲載	「広報あしや」に加え、インターネットを中心とした動画配信など様々な媒体での情報発信	
	広報国際交流課	124	積極的な地域情報の発信	計画掲載	「広報あしや」を活用した季節を感じる写真の掲載等。ホームページの広報カメラアイ、思い出写真館、アーカイブの掲載。地域で活躍する人材の情報発信		
	市民参画課	125	芦屋まちデザインラボの開催	前年度	あしや市民活動センターの改修を機に、新たな利用者層を想定した方々で構成するワークショップを開催し、参加者それぞれが考える今後の市民活動について検討した。		
	課税課	126	ご当地ナンバープレートの交付	計画掲載	500cc以下の原動機付自転車ご当地ナンバープレート(2種類)の交付		

(参考1) 第2次芦屋市文化推進基本計画 事業概要一覧

重点取組項目	施策の方向性	課名	事業No	施策・事業名	掲載	内容・イベント	パブリシティ(新聞・フリーペーパー・雑誌・テレビ・ラジオ)(回数)(日時)
	(4)文化を通じたまちの魅力の一体的な発信	生涯学習課	127	富田碎花顕彰事業	計画掲載	本市ゆかりの芸術家や作家及びその作品、文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信	
		生涯学習課	128	文化財保護及び活用事業	計画掲載	本市ゆかりの芸術家や作家及びその作品、文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信	
		生涯学習課	129	谷崎潤一郎記念館管理運営事業	計画掲載	本市ゆかりの芸術家や作家及びその作品、文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信	
		生涯学習課	130	美術博物館管理運営事業	計画掲載	本市ゆかりの芸術家や作家及びその作品、文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信	
		政策推進課	131	シティプロモーション事業	前年度	本市の魅力を活かしたシティプロモーションを行うことで、市民のシビックプライドの醸成及び本市の住みやすさの認知度を向上させ、交流人口の増及び人口流入促進を図る。	神戸新聞(5/27, 6/24), 読売新聞(5/29, 6/28), 産経新聞(5/24), 毎日新聞(7/5), 朝日新聞(6/29)に掲載。朝日放送、サンテレビにて放送。シティライフ(6月号・7月号)リビング阪神(6月号)掲載。

(参考2) 第2次芦屋市文化推進基本計画 指標の達成状況

指標	単位	平成27年 時点	現状値 (平成30年 度実績)	めざす値 (令和2年 度末)
① 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進				
この1年間における文化体験・活動の有無	%	59.5	-	70.0
芦屋の伝統や文化に関する講演会などの参加者数	人/年	330	2,005	390
社会教育活動を通じて学んだ市民が講師や指導者となった公民館講座及び市民版出前講座の実施回数	回/年	3	15	18
文化財の整理作業補助などに関わる「文化財ボランティア」の活動者数	人/年	15	16	29
「広報あしや」の市民の満足度	%	58.1	61.8	70.0
市ホームページの市民の満足度	%	49.5	47.2	60.0
② 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進				
あしやキッズスクエアでのプログラム実施回数	回/年	-	866	920
中学生以下の美術博物館入館者数	人/年	1260	888	3348
③ 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり				
NPOなどの団体と協働して開催した国際理解を深めるための講座の参加者数	人/年	-	49	50
地域におけるまちなみなどの景観の美しさに関して「かなり良い」又は「やや良い」と回答した市民の割合	%	84.7	84.5	90.0
市民が1か月に1冊以上読書する割合	%	55.0	-	67.8
公立図書館における児童(7～15歳)の図書貸出冊数	冊/年	73,150	41,608 (*)	77,539
「定住意向」に対して、「今の場所に住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」と回答した割合	%	84.6	83.9	90.0
「居住地として芦屋市を選んだ理由」に対して、「地域イメージが良い」と回答した割合	%	42.0	44.8	46.0

* …… 図書館本館の休館(大規模改修のため)により, 例年より減少
(平成28年度:70,140冊 平成29年度:75,409冊)